

Welcome to the サイエンス・ワールド!!

2013, 5, 7(火)

第75号

那覇市立教育研究所
理科通信



さわやかな風薫る5月。

空には大小さまざまなこいのぼりが泳いでいますね。

こいのぼりの泳ぎのエネルギーは「風」です。こいのぼりの泳ぐ姿を見ていると風の強さがわかるのです。大きな真鯉（まごい）が、ポールと45度くらいの角度になるのが、風速3m/s（1秒間に3mの風が吹く速さ）ぐらいの風です。ちょっと元気がない感じがします。これが、風速5m/sの風になると、角度は90度、大空を優雅に泳ぐ姿が見られます。風速6m/sを超える風が吹くと、こいのぼりがポールからはずれたり、ポールが折れたりして危険なので、おろした方がいいでしょう。

また、こいのぼりは東を向いていれば東風、北を向いていれば北風というように、風が吹いてくる方向を向いています。こいのぼりが南を向いて泳げば、暖かい空気が流れ込んできて気温が上がるでしょう。その後、低気圧が遠ざかると北風に、高気圧に覆われてくると西よりの風が変わってきます。

そうすると天気は回復に向かうというように、こいのぼりの泳ぎ方や向きを見て天気の変化を予想することもできるのです。



3m/sぐらいの風だとこのくらい



5m/sの風（本部カツオのぼり）



（文責：玉村かおり）